

日本の医療インバウンドの新たな価値創造

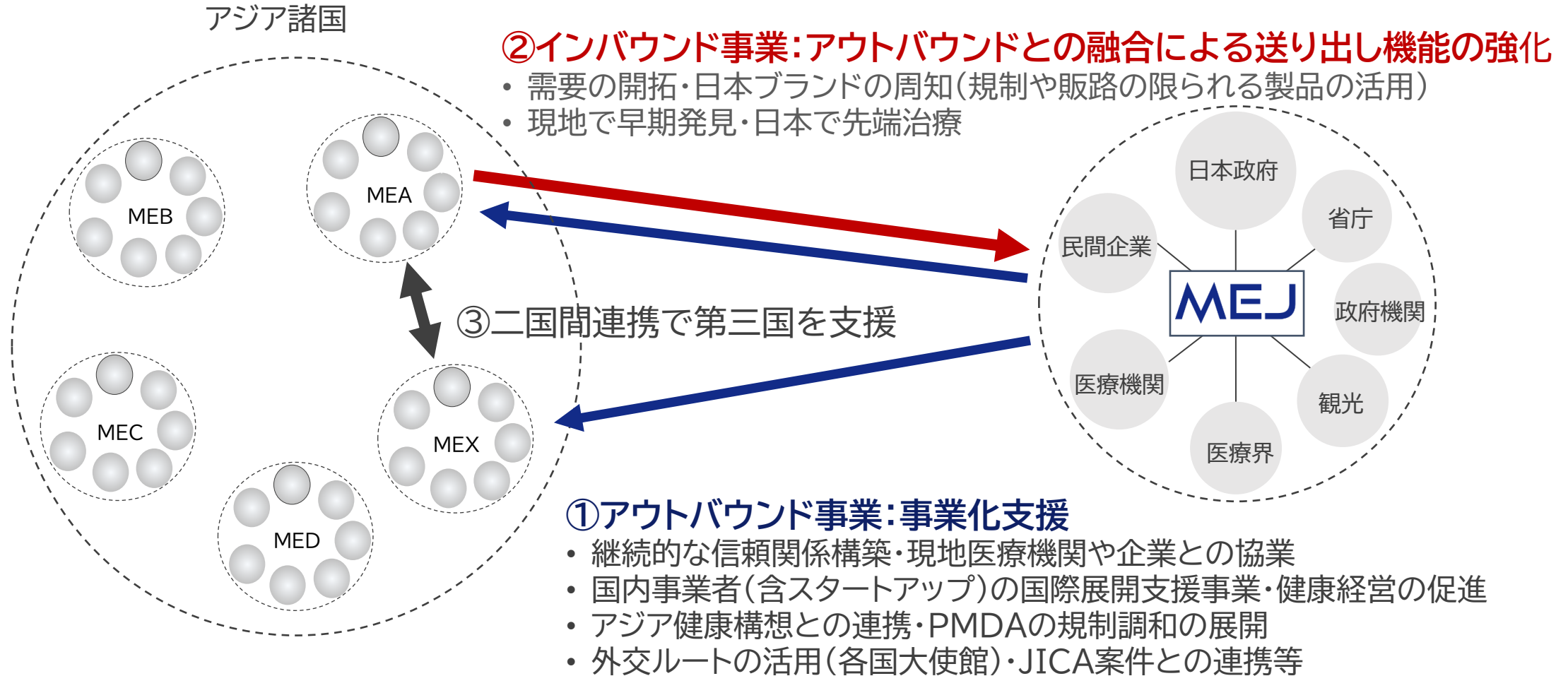
渋谷 健司

2024年12月11日

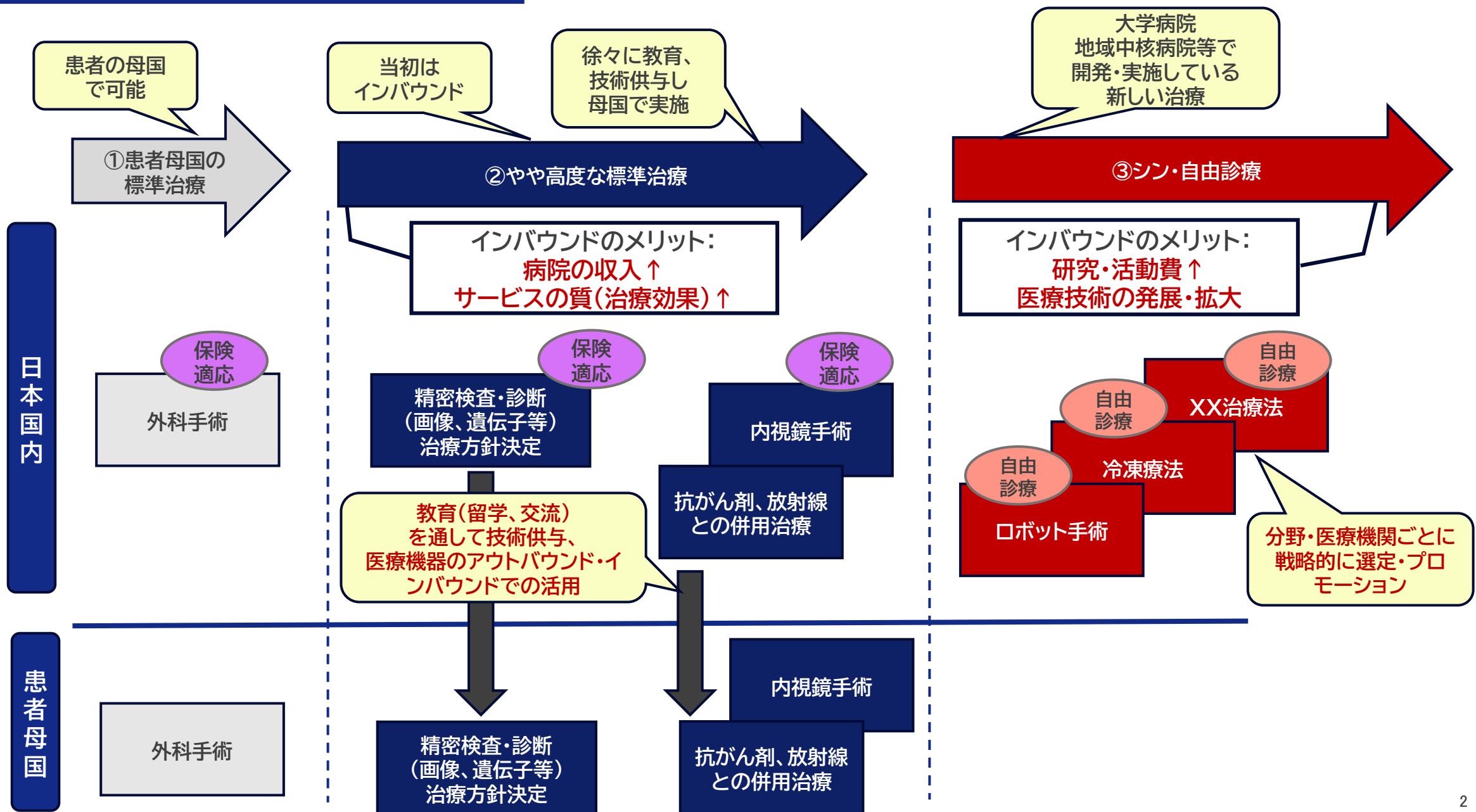
Disclaimer: all views expressed here are solely my own and do not represent the opinions of any entity which I have been, am now or will be affiliated with.

MExx構想:アウトバウンドとインバウンドの一体的活用による国際展開の加速

今後のグローバルヘルス戦略で考慮すべきこと:経済安全保障戦略と医療産業振興は表裏一体



臨床医学の発展とインバウンドの役割(乳がんのケース・例示的)



海外先進事例との比較

外国人患者が日本に来る必要条件
(IGTクリニック堀信一先生)

- ✓ 求める診療が自国より優れている
- ✓ 日本への信頼がある
- ✓ 欧米よりも安価である
- ✓ ネットで日本の医療を検索できる

ハードはほぼ遜色ない

標準医療サービスは日本の方が治療成績が良い

著名な医療インバウンド病院
(バンコク)



陽子線治療センター
(日本)



日本への信頼は圧倒的

治療効果: シン・自由診療 > 保険診療

事例:

- 早期肝細胞癌の重粒子線治療
- 癌血管内治療

価格については要検証だが一般に安い

マーケティングについては大いに遅れている

医療サービスにおける必要条件は揃っているのに、なぜ医療インバウンドはうまくいかないのか？

MEJ調査：医療渡航受診者の患者体験に関する医療機関の痛みポイント

患者受入れにおける医療現場の負担が大きく、オペレーションが追いついていない。

- 渡航支援企業や患者からの問い合わせ対応や医療情報の整理に**多大な労力**を割いている。
- 患者のトリアージは高度な専門業務であるため、院内体制の強化やアウトソーシングが求められる。
- 医療渡航患者の受け入れにおける**病院マネジメントやオペレーションの改善**が不可欠である。

外国人診療が保険診療の下支えの位置づけにすぎない。

- 日本の医療機関は**公的保険制度を優先**しており、**医療インバウンドに積極的な病院は限られる**。
- 外国人患者の受け入れが日本人患者の診療を圧迫してはならないという考えが一般的であり、**各医療機関の受け入れキャパシティには限界**があるため、急な増加には慎重な対応が求められる。
- 医療インバウンドを促進するためには、**明確なビジョンと現場での意識改革が不可欠**である。

そもそも患者が集まっていない。病院自身が強みを打ち出せていない。

- 各医療機関の受け入れ能力は限られているが、実際の**医療渡航患者数は期待に達していない**。
- 多くの医療機関は患者紹介を渡航支援企業に依存している。長年保険診療に支えられている医療機関にとって患者は待っていれば来るものであり、**競争して患者を集める発想がない**。
- 医療機関は**独自の強みを明確にし、海外に向けた戦略**を立てる必要がある。

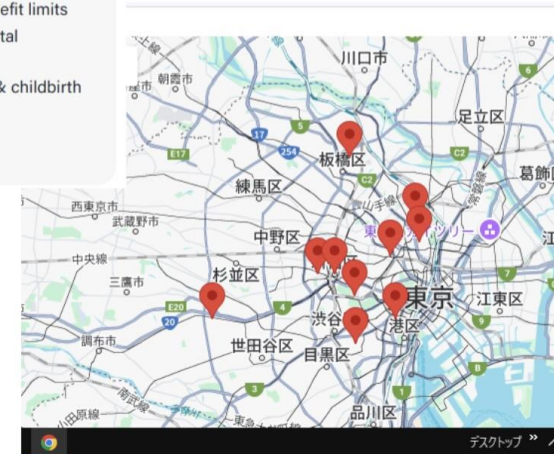
各レベルでの根源的な課題の解決:「選択肢を増やす」

1. 医療提供側: **公的保険制度という呪縛**にとらわれている → 自由診療・民間事業者の関与
2. マクロ医療システム: **すべての負担が医療提供者側**に行ってしまう → 負担軽減とインセンティブ
3. 日本の医療インバウンド: そもそも日本が対象として**認知されていない** → 異次元のプロモ

グローバルな保険会社の検索サイトで検索可能な東京の病院

Bronze US\$1.5m Annual benefit limit	Silver US\$2.5m Annual benefit limit	Gold US\$5m Annual benefit limit
✓ Hospital treatment & follow up appointments ✓ Cancer treatment ✓ Ambulances ✓ Medical evacuations ✓ Advanced imaging, such as MRI and CT scans	✓ All the benefits of Bronze ✓ Private hospital accommodation ✓ Mental health treatment ✓ Outpatient treatment ✓ Chronic conditions ✓ Physiotherapy ✓ Well-being	✓ All the benefits of Silver ✓ Cash benefit upon diagnosis with cancer ✓ Highest benefit limits ✓ Routine dental treatment ✓ Pregnancy & childbirth

CUC



(資料提供: CUC)

医療機関が本来やるべきことに集中できる体制の構築に向けて

JIH認証医療機関等



医療提供者は患者にとって
ベストな医療サービスの提供に集中できる環境

保険診療

- ・ 病院マネジメントの改善
- ・ 現場のインセンティブ改善
- ・ サービスの改善・生産性向上
- ・ 保険診療の負担・赤字の軽減

自由診療部門

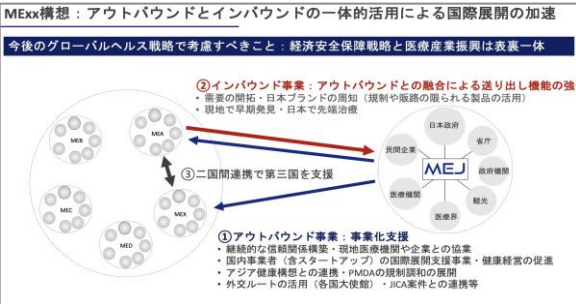
- ・ ハイエンド対応
- ・ コンシェルジュ機能
- ・ 臨床トリアージ機能
- ・ 不適切医療の救急対応
- ・ 未払い金・偽装滞在対応

日本人・在留外国人

訪日外国人

現地送り出し機能の確立

- ・ MExx構想によるアウトバウンドとインバウンドの一体化
- ・ 「アジア健康構想」との連携
- ・ 日本式医療のブランディングの加速



渡航支援企業（MEJ認証企業等）

- ・ 集客能力の改善
- ・ マスを対象にした観光事業からの脱却
- ・ 通常のコーディネーター業務との棲み分け



MEJの取り組む施策(案)

1. 日本型医療インバウンドモデルの確立

- 受け入れ医療機関の成功事例を積み上げることが不可欠
- 徹底した市場調査（日本の医療の強み調査、競合国調査、ターゲット顧客調査、患者体験調査、マーケティングチャネル調査、市場プレイヤー調査、原価コスト評価等）
- 意欲的な地域や医療施設を公募で選定の上、各医療機関が個別の課題に対して適切な戦略立案と体制整備がなされるように伴走支援を行う

2. 日本の医療ブランド発信強化のためのマーケティング戦略の確立と異次元のプロモ

- 日本の医療全体をブランディング（グローバル事業者や保険会社等との連携）
- 海外向け発信コンテンツの作成、海外イベント・学会でのブランドキャンペーン展開
- 個別の病院のマーケティング相談やマネジメント改善などの支援

3. 医療インバウンドの障壁となっている制度面の改善

- 医療滞在ビザの迅速な発給・広告規制の緩和
- 偽装滞在対策（不適切な健康保険証の取得への対策）
- 自由診療クリニックの質の担保（JIH認証のクリニック版）